

転入者向け

笛吹市 行政区加入 ハンドブック

～ ハートフルタウン実現のために ～



笛吹市連合区長会

平成31年4月 発行

令和6年3月 改訂

発行 笛吹市連合区長会

印刷 笛吹市連合区長会 事務局

(笛吹市役所 総務部 総務課)

～ 目 次 ～

1 行政区への加入促進に向けて

- ◆加入率の推移 1
- ◆加入率低下による地域への影響 . . . 2

2 行政区加入のメリット

- ◆災害時に助け合う 3
- ◆犯罪から身を守る 5
- ◆子どもたちを交通事故から守る . . . 5
- ◆地域住民の交流を深める 6
- ◆さまざまな情報がわかる 6
- ◆地域の課題を解決できる 6

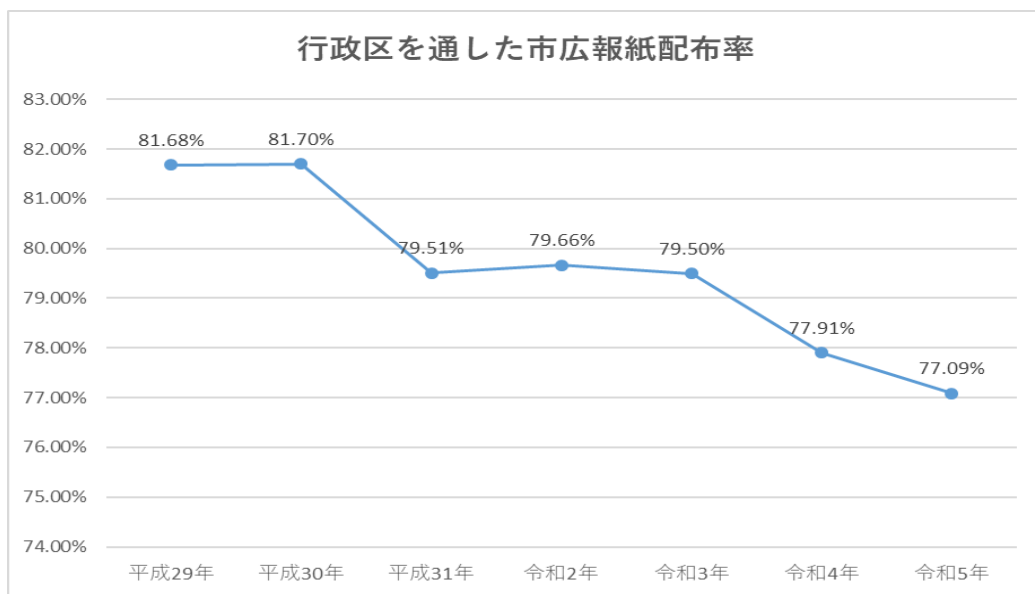
1 行政区への加入促進に向けて

行政区(笛吹市では、「自治会」や「町内会」を「行政区」と呼びます。)とは、同じ地域に住む人たちが、隣近所の助け合いや親睦活動、地域の環境問題、新たな地域づくりなどを共同して取り組むために、自主的に結成された組織です。また、個人では解決できないことや行政の手が届きづらいことなどについて、お互いに力を出し合い、住みよいまちづくりを推進することを活動の目的としています。

そして、この地域活動を継続していくためには、できるだけ多くの方々に行政区へ加入していただくことが必要となります。

◆ 加入率の推移

- 市の広報紙を配布している世帯数を基に加入率を判断すると、年々減少傾向にあります。

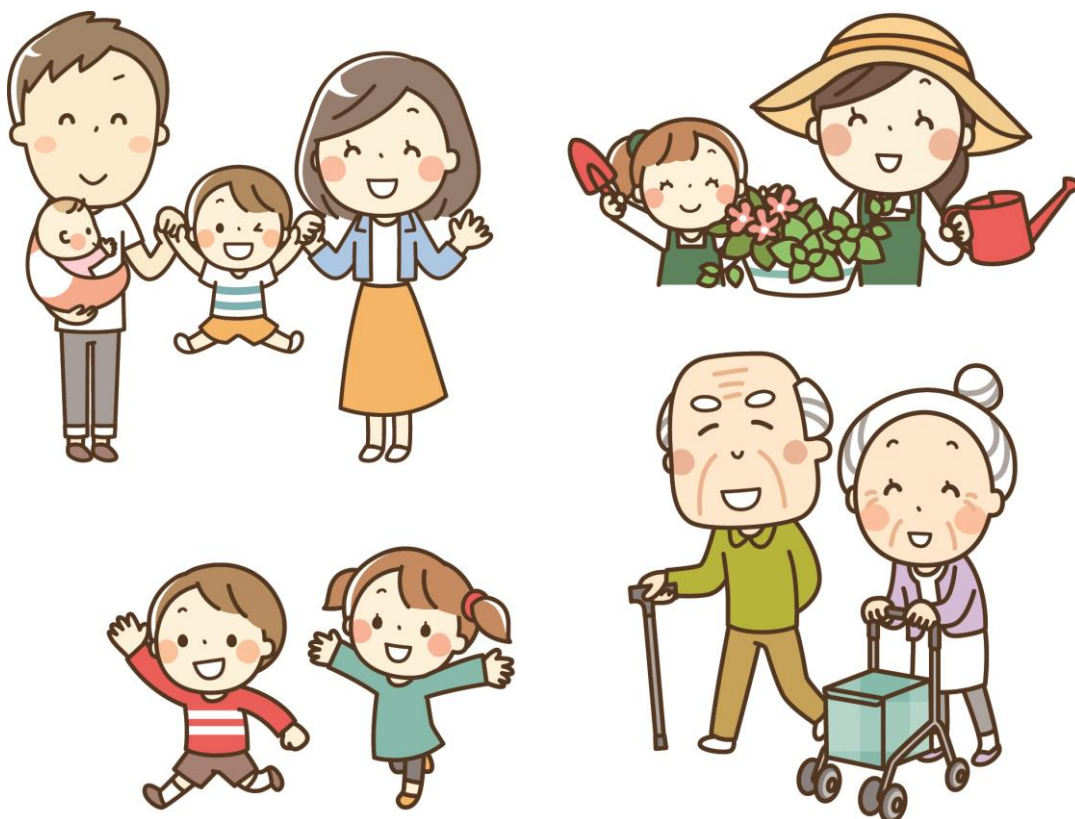


◆ 加入率低下による地域への影響

- ① 地域における連帯感が希薄となり、災害時の共助や地域課題の解決などが一層困難になる可能性があります。
- ② 地域における防災、防犯活動及び清掃活動などのほか、行政区運営に支障をきたす可能性があります。



住みよい地域づくりには、より多くの方が
行政区に加入(参画)いただくことが重要です！



2 行政区加入のメリット

「行政区へ加入するメリットは何ですか？」というのは、よく聞かれる質問です。行政区は、ごみ収集場所の設置や管理、広報紙や回覧板の配布など、毎日の暮らしに必要な役割を果たしています。

行政区に加入していない人の多くは、行政区が行っている活動を知りません。

ここでは、分野ごとのメリットをご紹介します。

◆ 災害時に助け合う（共助）



- 大規模な地震が起きた直後は、市や消防、警察の支援(公助)がすぐには行き届かないことが想定されます。
- そのような事態に、ご自身やご家族だけで、消火活動や負傷者の救出活動を行うことは非常に困難です。
- そこで、行政区では、地域住民がお互いに助け合う「**共助**」により、地域の消防団と連携し、自主的な救助活動を行います。
- 阪神・淡路大震災、東日本大震災及び能登半島地震などの災害時においては、多くの方が近隣の人々の協力によって救出されました。大きな災害になればなるほど救急車や消防車は、すぐには動きません。より迅速な救助が必要な場合には、地域住民による自主的な活動こそが、非常に重要なのです。災害発生時から72時間以内の救出が、生存率を高めます。
- 行政区の主な活動はつぎのとおりです。
 - ①安否、被害の確認・地震発災後、隣近所で声をかけあい、逃げ遅れや安否、被害状況の確認を行う。
 - ②避難誘導・・・・・・・・地域住民を、一時避難場所や指定避難所

へ誘導する。また、避難行動要支援者の避難支援を行う。

- ③消火活動・・・・・・・・消防団と協力し、消火栓や行政区で保有している消火器などを使用し、初期消火を行う。
- ④救出救護・・・・・・・・倒壊した家屋に取り残された人がいる場合は、可能な範囲で救出に向かう。また、負傷者への応急手当を行う。
- ⑤情報収集・・・・・・・・災害に関する正しい情報を収集し、地域の被災状況を把握する。また、地域住民に対して、収集した情報の広報活動を行う。
- ⑥給食給水・・・・・・・・食糧や飲用水などを確保し、炊き出しなどの給食、給水活動を行う。
- ⑦防災訓練・・・・・・・・消防団と協力し、自主防災組織として、避難場所・避難行動要支援者の確認、避難誘導、初期消火、応急救護などの訓練を定期的に行う。

- 自分の身は自分で守る「**自助**」も大切ですが、個の力には限界があります。
- 地域住民がお互いに助け合う「**共助**」に取り組むことで、1人でも多くの方の命を守ることができます。

⇒行政区に加入し、地域全体で災害に強いまちづくりに取り組みましょう。



◆ 犯罪から身を守る



- 笛吹市は、果樹を中心とした農業地域が多く、都市と比べると犯罪発生件数は少ないものの、空き巣や強盗から身を守るためには、警察に任せるだけでなく、日頃から声かけや見守りなど、地域住民が協力し合うことが必要です。
- 行政区では、地域内での犯罪を防ぐため、市や消防・警察と連携して「防犯パトロール」や「防犯診断」などの防犯対策を行っています。
- 子どもがいる方、家を留守にすることが多い方、ひったくりや痴漢に狙われやすい女性など、ご自身と大切なご家族を犯罪から守るために、行政区に加入して一緒に防犯活動に取り組みましょう。

◆ 子どもたちを交通事故から守る

- 行政区では、交通事故による被害をなくすため、交通安全協会や育成会などと協力して、交通安全活動を行っています。
- 主な活動として、児童が登下校する際の見守りや、自転車の安全な乗り方を教える自転車教室など、市や警察に協力する形で行っています。
- 子どもたちを交通事故から守るため、地域一体となって交通安全活動に取り組みましょう。



◆ 地域住民の交流を深める



- 行政区では、地域住民の交流を深めるための各種イベントを開催しています。
- 祭りや運動会、いきいきサロンなど、様々なレクリエーション活動を行っているほか、高齢者や親子を対象としたイベントや皆さんが交流を深める機会を多数ご用意しています。
- イベントを通じて、近隣住民とのつながりを持ちましょう。

◆ さまざまな情報がわかる



- 広報紙や回覧板等によって、地域や行政からの行事・イベント案内などの交流を深めるきっかけとなるような楽しい情報や、お知らせ・連絡事項などの暮らしに関わる重要な情報を逃すことなく定期的に入手することができます。

◆ 地域の課題を解決できる

- 地域の困りごとがあれば、行政区を通じて市に相談することができます。個人よりも地域全体の問題とすることができ、市もより早く、スムーズに対応できます。

